

第58回全国高等専門学校体育大会柔道競技実施要項

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会柔道競技専門部
木更津工業高等専門学校、千葉県柔道連盟
3. 後援 スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人全日本柔道連盟、千葉県、千葉県教育委員会、公益財団法人千葉県スポーツ協会、千葉市、千葉市教育委員会、木更津市、木更津市教育委員会
4. 大会期日 令和5年8月19日（土）、20日（日）
5. 大会会場 千葉県総合スポーツセンター武道場
〒263-0011 千葉県千葉市稲毛区天台町 323
TEL 043-290-8501
6. 競技日程

8月19日（土）	10：00～10：50	計量
	11：30～	代表者会議
8月20日（日）	13：00～	開会式
	13：20～	男子団体試合
	競技終了後	団体戦表彰式
	8：20～8：40	（特別計量）
	9：00～	男子個人試合
	競技終了後～	女子個人試合 閉会式

<計量について>

無差別級の計量は行わない。ただし、計量時間内（特別計量時間を含む）において計量会場にて参加チェックを受けなければならない。

<特別計量について>

インターンシップ、就職試験、受験等のため、1日目の計量に参加できない者、また、個人戦のみ参加の学生で学生負担を減らす観点から、前泊が必要となる遠方からの参加に限り、開会式への参加を免除とし、特別計量対象者とする。
なお、その際は事前に理由書を開催校へ提出し、許可を得なければならない。

7. 競技種目
 - (1) 団体試合
参加チーム数 各地区代表 計12チーム
(北海道0、東北1、関東信越2、東海北陸2、近畿2、中国2、四国1、九州沖縄1、開催校1)
 - (2) 男子個人試合
参加人数 各地区代表 各階級16名
(北海道1、東北2、関東信越2、東海北陸2、近畿2、中国2、四国2、九州沖縄2、開催校1)
体重区分・66kg級・73kg級・81kg級・無差別級

(3) 女子個人試合

参加人数 各地区代表 各階級3名以内
(北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州沖縄の8地区)
体重区分・52 kg級・57 kg級・63 kg級・無差別級
ただし、選手自身の階級よりも1階級重いクラスに出場することができる。

8. 参加資格 高等専門学校の学生で全日本柔道連盟に登録加入した者

9. 参加制限 (1) 団体試合

- ① チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、合計10名以内とする。
- ② 選手の変更は正当な理由がある場合のみとし、所定(競技申込様式5)の手続きをした上で、代表者会議において、協議の上認める場合がある。選手変更の申請期日は、令和5年8月17日(木)16:00とする。

(2) 個人試合

- ① 選手の変更は原則認めない。ただし、怪我などの理由により事前に出場できないことが明らかな場合は、同地区次点の選手による変更を認めることができる。選手変更の申請期日は、令和5年8月1日(火)正午とする。
- ② 計量に合格しない者は出場できない。
選手の計量は、試合前日計量とする。ただし、前日計量に間に合わない正当な理由が認められれば、試合当日の計量をすることができる。計量は、いずれも、1回の時間帯を選択して行う。

10. 競技規定 (1) 試合は、「国際柔道連盟試合審判規定」および「全国高等専門学校柔道競技専門部運営申し合わせ事項」によって行う。

(2) 「優勢勝ち」の判定基準

ア. 団体試合の判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。

チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。代表戦における判定基準は「技有」または「僅差」以上とし、その延長戦の判定基準は、個人試合に準ずる。

団体戦の代表戦以外の試合において、「同時一本」の場合は「引分」とし、「両者反則負」の場合は両者負けとする。

イ. 個人試合の判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。

技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。

延長戦による判定基準は「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。

個人戦または団体戦の代表戦において、「同時一本」もしくは累積による「両者反則負」の場合は、スコアをリセットし、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負」となった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦(ゴールデンスコア)を行い必ず勝敗を決する。

(3) 試合時間は、団体試合・個人試合とも4分とする。ただし、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。

11. 競技方法 (1) 団体試合

- ① 12 チームを4ブロックに分け、予選リーグを行い、各1位の4チームにより決勝トーナメントを行う。
- ② 試合は各チーム5名の点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
- ③ リーグ戦の順位の設定は次による。
 - (ア) リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。
 - a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - b) a) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - c) b) で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - d) c) で同等の場合は、引き分けとする。
 - (イ) リーグ戦の順位は、2勝・1勝1分・1勝1敗・2分・1分1敗・2敗の順とする。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (エ) (ウ) で勝ち数の同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (オ) (エ) で勝ち数の同じ場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (カ) (オ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (キ) (カ) で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
 - (ク) (キ) で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (ケ) (ク) で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (コ) (ケ) で同等の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (サ) (コ) で同等の場合は、代表戦を行う。
- ④ トーナメント戦の順位の設定は次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) (ア) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (エ) (ウ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (オ) (エ) で同等の場合は、代表戦を行う。
- ⑤ 代表戦において、両試合者が「同時一本」、「同時反則負け」を得た場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
- ⑥ 3位決定戦は行わない。

(2) 個人試合

- ① 体重別のトーナメント方式で行う。
- ② 3位決定戦は行わない。

12. 組合せ 別紙組合せ表による。

13. 抽選方法 団体試合は令和5年8月19日（土）の代表者会議にて決定する。個人試合は令和5年8月1日（火）に下記抽選方法により、主管団体の責任において決定し、その結果は直ちに各チームに通知する。

(1) 団体試合

- ① 前大会1位から3位の高専が出場した場合のみシード校として取り扱う。「地域シード制」は取らない。

- ② 同地区代表が準決勝まで対戦をしないように抽選を行う。なお、同地区校の対戦については事前の専門委員会会議にて抽選方法の確認を行い、その結果を代表者会議にて抽選の前に周知することとする。

(2) 個人試合

- ① 前大会 1 位から 3 位の選手が同階級に出場した場合に、シード選手として取り扱う。「地域シード制」は取らない。
- ② 前大会の入賞者が階級を変えてエントリーした場合、当該階級の第 1～4 シードに欠員がある場合にのみ、当該階級シード権所持者の次の枠を与える。
- ③ シード選手が 2 名の場合、互いに勝ち進んだとき決勝で対戦するようにする。シード選手が 3 名以上の場合、互いに勝ち進んだとき準決勝で対戦するようにする。ただし、上位 2 名のシード選手が互いに勝ち進んだとき決勝で対戦するようにする。
- ④ 各地区大会 1、2 位選手（開催校選手を含む）同士、同一校選手は、原則として決勝戦まで対戦させない抽選を行うこととする。
大会に関する事、組合せ等で運営に支障をきたすことが明らかな場合は、専門委員会でこれを考慮する場合がある。

14. 表彰 (1) 団体試合は、第 1 位のチームに賞状、文部科学大臣杯、全日本柔道連盟杯、メダルを授与し、第 2 位、第 3 位チームに賞状、メダルを授与する。
(2) 個人試合は、第 1 位～第 3 位の選手に賞状、メダルを授与する。

15. 参加料及び納入方法

団体試合は 1 チーム 12,600 円、個人試合（団体選手と重複する場合は不要）は、1 名 1,800 円とする。参加申込と同時に振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

振込口座

金融機関名 千葉銀行 木更津支店

口座種別 普通預金

口座番号 3764993

口座名 全国高専体育大会事務局木更津高専
学生課長 町田雄一

(フリガナ) ゼンコクコウセンタイイクタイカイジムキョクキサラヅコウセン
ガクセイカチョウ マチダユウイチ

16. 参加申込 (1) 申込期限 令和 5 年 7 月 25 日（火） 必着
(2) 申込先 木更津工業高等専門学校 学生課学生支援係
〒292-0041 千葉県木更津市清見台東 2-11-1
TEL : 0438-30-4038
FAX : 0438-98-5403
(3) 申込方法 地区大会終了後、所定の参加申込用紙に必要事項を記入の上、電子データ及び簡易書留等にて上記事務局宛送付すること。

17. 代表者会議 (1) 日時 令和 5 年 8 月 19 日（土） 11 : 30
(2) 場所 千葉県総合スポーツセンター武道場
(3) 出席者 団体戦：監督・主将／個人戦：監督のみ

18. 開会式及び閉会式

- (1) 開会式 令和5年8月19日(土) 13:00 競技会場で行う。
- (2) 閉会式 令和5年8月20日(日) 競技終了後、競技会場で行う。

19. 宿 舎 別途通知し斡旋する。

20. 新型コロナウイルス感染症対策

一般財団法人全国高等専門学校連合会が示す「感染法上の位置づけ変更後の基本的な感染対策について(令和5年5月29日付/令5連合会第21号)」、(公財)全日本柔道連盟が定める感染対策指針に従って感染拡大予防対策を行い運営するものとする。

21. そ の 他

- (1) 選手は、全日本柔道連盟現行もしくは新規格の柔道衣を着用し、規程のゼッケン(横 30 ± 3 cm, 縦 22 ± 3 cm)を付けること。
- (2) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。ただし、脳振盪・皮膚真菌症(トングランス)に関しては次のとおりとする。

<脳振盪における扱い>

- ①大会1ヶ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
- ③また、当該選手の指導者は、(公財)全柔連へ事故報告書を提出すること。

<皮膚真菌症(トングランス)における扱い>

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関に於いて、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。疑わしい場合には競技委員長に申告の上、指示を仰ぐこととする。

- (3) 試合場におけるコーチの振る舞いについては、平成24年4月1日付け全柔連通達事項を厳守すること。
- (4) 健康保険証又はそれに変わるものを持参すること。
- (5) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
- (6) 競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通じて競技開催校事務局(agakusei@a.kisarazu.ac.jp)に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。
- (7) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。